平成25年1月1日発行/通巻793号

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報
京都府中小企業団体中央会

newsline 2013/1

	平成25年 年頭所感／会長 渡邉隆夫	1
	平成25年 年頭挨拶／山田啓二 京都府知事	2
	平成24年度　京都府産業功労者表彰・京都府中小企業関係定例表彰	2
	平成25年 年頭挨拶／門川大作 京都市長	3
	官公需適格組合行動憲章功労組合表彰	3
中央会NEWS	企業組合部会研修会を開催	4
	中小企業の海外展開支援セミナーを開催	4
	京都府中小企業女性中央会 ソーシャルビジネス先進事例視察	5
	京都経済お天気	5
特　集	2013年中小企業が目指す姿	6〜7
お知らせ	第17回 女性のつどい	8
	KCインフォメーション配信登録募集中！	8

平成25年　年頭所感

日　本　の　主　体　性　発　揮　を

京都府中小企業団体中央会　会長　**渡　邉　隆　夫**

皆様　明けましておめでとうございます。

毎年、年頭所感を書いていますが、一昨年、昨年の協同の年頭所感を再読してびっくりしました。小生の書いた文書にしては、よくできた年頭所感であり、それがそのまま今年もあてはまるからです。

と言うのは世の中、基本的なことはそう変わるものではないからです。中小企業の置かれている状況をはじめとして原発の問題、円高の問題、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）等の解決すべき事柄は枚挙に暇がないほどです。

この国際化の時代に、貿易障壁があるのはナンセンス、須く関税は撤廃すべきであるとの勇ましい主張をしていますが、TPPの与える影響を正確に把握しているか大いに疑問です。農業分野にとどまらず、法制度、医療、そして我々中小企業に及ぼす影響についても、しっかりと分析されているのか、その結果は計り知れないものと思っています。一度それを壊してしまうと、その修復は不可能と言っても過言でないほどの打撃を、その地域や国に与えることは、歴史が教えていることであり、我々は謙虚に歴史から学ぶ姿勢を持つことが必要です。

また、年度末には金融円滑化法の期限切れを迎えます。京都府内の倒産件数も現時点では落ち着いていますが、京都府が昨年10月に実施した景気動向調査では「影響がある」、「影響が懸念される」が合わせて44.9％となっており、金融円滑化法の失効による経営の影響が大いに懸念される状況です。

このように中小企業を取り巻く状況は、日々悪化していると言っても過言ではありません。ここで誤解されるかも知れませんが、敢えて言及すれば、やはり大企業が栄えてこそ、我々中小企業も繁栄するものであり、そのような時代を是非取り戻す必要があります。これには愛国心、国内での雇用の確保など、当然必須条件が大企業にも必要です。ただ単に海外の安い賃金目当ての大企業ならむしろ不要です。

行き過ぎた市場原理主義がリーマンショックを招き、国際経済の混乱をもたらした経験も踏まえ、今の時代ほど国際社会の中で、日本の主体性をしっかりと示した対応が求められている時代はなかったと感じています。

平成25年の新春も、日本はこれまでになく多くの重い課題を抱えたまま迎えることとなり、皆様方も様々に思いを廻らせていることと思います。

こういう時代だからこそ、組合をはじめ中小企業者の連携した取組がますます重要となります。中央会としても、京都の中小企業や組合による積極的な取組が一層進展するよう、引き続き全力で取り組んでまいりますので、皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

「ごめんさない」「ありがとう」 すなおな心のあい言葉
京都人権啓発推進会議／京都府中小企業団体中央会

平成25年
年頭挨拶

京都の持つ「力」を生かし、「オール京都」で明日を切り拓こう

京都府知事　**山　田　啓　二**

府民の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、ロンドンオリンピックでの京都府ゆかりの選手の活躍や、京都大学　山中伸弥教授のノーベル賞受賞など、府民にとって大変誇らしい出来事のあった年でありました。その一方で、痛ましい交通事故の発生や南部地域での豪雨被害、停滞する経済と厳しい雇用環境、生活保護受給世帯の増加、原子力発電所の安全性をめぐる問題や節電対策など、多くの課題が生じた年でもありました。

昨年の衆議院議員選挙では、エネルギー問題、消費税増税問題、ＴＰＰ交渉参加問題などを巡って国論が二つに割れ、また領土問題など「対立」が目立った年でもありました。だからこそ、今年は「和をもって貴しとなす」、この言葉を実践する年にしたいと思います。困難な課題が多く、難しい判断が求められますが、巳年となる今年は、蛇行することはあっても、着実に前に進んで行きたいものです。そのために、私どもはこれまで以上に「熟議」し、その上で「判断」し、みんなが心を合わせ、困難に向かって「行動」していかなければなりません。

幸い、京都には、さまざまな機関や団体、そして府民の皆様が連携し、協力して大きな力を発揮するという「オール京都」の風土があります。この「オール京都」による取り組みは、昨年も「古典の日」の法律制定や、「和食」の世界無形文化遺産登録に向けた活動、「京都産業育成コンソーシアム」による中小企業支援、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするための「京都式地域包括ケア」など、すでに多くの分野に及んでいます。

また、地域に暮らす皆様が協働して地域づくりに取り組む「地域力再生プロジェクト」は、この六年間で三千件を上回り、身近な道路などの改善を府民の皆様の提案により行う「府民公募型安心・安全整備事業」は、この四年間で四千五百件にも上るなど、府民の皆様の協力によって地域を豊かにする取り組みが進められました。

府民の皆様お一人お一人が、夢と希望を抱き、生きがいを持って暮らせるような京都をつくっていくためには、こうした取り組みを、府政運営の三つの基本方向である「府民安心の再構築」、「共生社会の実現」、「京都力の発揮」にそって活かしていくことが必要です。

京都には、伝統･文化の力やブランド力、人材やものづくり産業、学術研究の蓄積などの未来を創造する力といった比類なき「力」があります。本年三月には、京都縦貫自動車道の沓掛・大山崎間が開通し、二六年度には全線開通を迎えるとともに、北近畿タンゴ鉄道の再生やＪＲ奈良線の環境整備を進めることで、府民の皆様の力をさらに結集できる条件が整ってきます。

日本全体が大きな構造変化に直面し、未来への道筋を見いだせない今、京都の持つ「力」を存分に発揮するためにも、今年の合い言葉は「オール京都」でいきませんか。

この一年の、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

平成24年度　京都府産業功労者表彰

古　川　康　夫　丹後機械工業協同組合　前理事長

おめでとうございます

平成24年度　京都府中小企業関係定例表彰

特別優良組合

丹後機械工業協同組合
京都錦市場商店街振興組合

優良組合

京そうざい事業協同組合
京都府牛乳商業組合

組合優良職員・従業員

齋　藤　　勉	京都府茶協同組合
竹　村　美　希	京都織物卸商業組合
大　西　幸　代	全京都個人タクシー共済協同組合
水　谷　義　臣	全京都個人タクシー共済協同組合
田　中　みつ子	丹後織物工業組合
後　藤　格　孝	丹後織物工業組合
髙　山　真理子	丹後織物工業組合
山　下　雅　基	丹後織物工業組合
大　藤　美奈子	京都府自動車整備商工組合

（順不同・敬称略）

平成25年
年頭挨拶

好機の兆しをつかみ、果敢に挑戦し、跳躍する一年に

京都市長　門川　大作

新年おめでとうございます。

皆様にとって、この一年が喜びの多い年になりますことをお祈り申し上げます。

市長に就任して５度目のお正月を迎えました。

この間、厳しい社会経済状況の中、職員一丸となって行財政改革を進めてきました。市長就任時には１万６千人余りであった市職員数を１万３千７百人にまで削減するなど、あらゆる努力を重ね、ようやく最大373億円あった赤字を解消できました。地下鉄・市バスの経営健全化も着実に前進しています。しかし、まだまだ課題山積です。行財政改革の徹底、中小企業の活性化、雇用の創出、環境、子育て支援、教育、福祉、安心安全なまちづくりなど、あらゆる分野で京都の力を結集し、市民の皆様と共に今年も全力投球していく！と、新年に当たり、決意を新たにしています。

私が一貫して大切にしている行動指針、それは、「迷ったときはより困難な方の道を選ぶ」ことです。人にも、まちにも何度かチャンスがあります。それに挑戦するかしないかで、未来が決まります。ちょうど「挑む」という字が、「手」偏に「兆し」と書くように、厳しさの中で良い予兆、兆しが見えても、見ているだけでは、「眺める」だけで終わります。手でその兆しをつかみにいってこそ、「挑む」という字になります。そして、兆しをつかんで、足で走り回ってこそ、未来に向かって大きく「跳ねる」ことができます。

昨年、本市では、市民の皆様と夢や理想を共有した本市の基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」の実施計画を策定し、すでにこれまで、特に重要な事業（リーディング・プロジェクト）の９割以上に着手してきました。本年はそれらの取組をより一層加速させていく重要な年です。勇気を持って果敢に挑戦し、京都が未来に大きく跳躍する礎を築くため、引き続き皆様と共に全力を尽くしてまいります。

本年もよろしくお願いいたします。

おめでとうございます

官公需適格組合行動憲章功労組合表彰

京都府電気工事工業協同組合

写真右側：同組合 藤井正代表理事

官公需適格組合の有志で構成されている全国官公需的確組合受注確保協議会では、平成17年度に「官公需適格組合行動憲章」を制定。この行動憲章は、“地域の仕事は地域の中小企業と組合が担当し、地域経済の活性化に寄与していくことが望ましい姿”であるとの考え方に基づき、このためには、コンプライアンス、個人情報保護、環境問題等への対応を図るとともに技術力、信頼性の向上に努め、地域社会の一員としての役割と責任を果たしていくことが重要であることとしている。

この度、京都府電気工事工業協同組合の組合活動が評価され、官公需適格組合行動憲章功労組合表彰を受賞された。

中央会NEWS

「企業組合部会組合運営研究会」を開催

福島おひさま連合の森氏

11月28日（水）、ホテルグランヴィア京都において恒例の企業組合部会の組合運営研究会を開催し、部会所属組合から35人が参加した。今回の研究会には、「福島おひさま連合」の森　茂雄代表理事を講師に迎え、福島県内各自治体で取り組まれている太陽光発電所企業組合による「市民共同発電所事業」について現状や今後の目標などについて話をお聞きした。

森代表理事は、「東日本大震災・原発事故により、地域に住むことができない、仕事がない、若者が出て行くなどコミュニティーが崩壊しており、地域の自立、経済の再生、雇用創出の足がかりとして地産地消による再生可能エネルギーを作り出すことにした。企業組合は、個人の資格で誰でも出資でき、少ない投資で参加でき、将来、大きな収入を得るような事業規模になれば、株式会社に組織を変えることもできる。太陽光発電所企業組合をそれぞれの自治体ごとに設立することを目指しており、現在７組合が認可されている。

今後の目標は５年間で県内に原発一基分（100万kw）の発電施設を実現したい。現在、太陽光発電実証実験施設として南相馬市に50kwの施設を設置しており、設置準備中が４市ある。今後の課題として、事業戦略・中長期事業計画、事業資金の確保、人材確保・育成、公民連携体制の構築等、多くの課題があるが、福島の復興のため努力したい。」などのお話をされ、講演後の懇親会では、京都の企業組合との相互交流を深めて行くことで一致した。

「中小企業の海外展開支援セミナー」を開催

12月4日（火）、京都リサーチパークにおいて、中小企業の国際化対応への取組を促進することを目的に「中小企業の海外展開支援セミナー」を開催、組合代表者をはじめ傘下組合員企業の代表者等約40名が出席した。

本セミナーでは、株式会社フォーバル 執行役員コンサルティングディビジョン海外事業グループ長の有賀正宏氏を講師に招き、とりわけ現在、世界中から注目を集めているASEAN諸国への進出のポイント等について、「中小企業ASEAN進出のポイント ～ASEANの現状と日系企業が注目するインドネシア／カンボジア／ベトナム／ミャンマーの今～」と題した講演を拝聴した。

ASEAN 進出のポイントについて講演される有賀氏

有賀氏は「ミャンマーの民主化によりメコンエリアの物流網が発達し、ものづくりの集積地が東南アジアにできている。東南アジアは高度経済成長期にある。」とASEANの現状について説明された。また、インドネシア・カンボジア・ベトナム・ミャンマーの各国の特徴と現状について説明され、「東南アジアで一番思うことは、対日感情が良く心を許せる方々だと思う。」と述べられた。

続いて、株式会社阪口製作所 代表取締役の阪口雄次氏（本会副会長）より、タイ進出のポイントについて事例発表が行われた。阪口氏は、自社の概要及びタイへの進出の経緯、取組について説明され、「私たちがタイの文化や相手の気持ちを十分に理解することが必要である。また、我々の気持ちを理解しタイの人達に伝える日本人駐在員のコミュニケーション能力も求められる。日本人駐在員がうまくコミュニケーションをとることで、生産能力・品質向上につながっている。設備・技術力・キーマンが大きなポイントとなった。」と述べられた。また、今後の展開について、「2016年に創業70周年を迎えることから“PROJECT 2016”を立ち上げた。同じものの大量生産はタイで行い、日本では“多様化へ”を合言葉に次世代の阪口づくりに取り組んでいる。」と結ばれた。

タイ進出のポイントについて発表される阪口氏

本会では、国際化対応支援事業の一環として、平成25年1月12日から16日にタイ産業視察を実施する。

中央会NEWS

京都府中小企業女性中央会　ソーシャルビジネス研究事業 先進事例視察

本会の女性部組織である京都府中小企業女性中央会（会長 伊庭節子：本会理事・八島おかみさん会会長）では、本年度の新たな取組としてソーシャルビジネスについての研究事業に取り組んでおり、11月28日（水）に「鎌谷中もえぎグループ企業組合」（京都府船井郡京丹波町）と「Cafe月のとき」（京都市伏見区）を訪れ、事例研究を行った。

鎌谷中もえぎグループ企業組合細井氏

地域資源活用及び地域活性化の事例として視察した「鎌谷中もえぎグループ企業組合」では、細井百合子代表理事、京丹波町商工会の中谷太主事より、地元で取れる“瑞穂大納言小豆”と“ほうれん草”を使ったお菓子『京風ぎんつば草納言』からスタートしたお菓子づくりの経緯や同組合の活動内容について説明を受けた。細井氏は、「地元の美味しいものを多くの人に食べてもらいたいという思いが信念としてある。これまで多くの壁があったが、仲間・家族の支えや行政・関係機関等の支援により続けることができた。新たな事業への取組は、知らない・分からないからできることもある。1歩踏み出せばなるようになる。」と力強く述べられた。

また、ひきこもりの若者の自立支援及び地産地消の事例として視察した「Cafe月のとき」では、オーナーの有限会社エスアールフードプロデュースの齋藤三映子代表取締役より、事業取組の経緯や事業概要について説明を受けた。齋藤氏は、「京都すばる高等学校との伏見特産品共同開発事業に取り組む中で、ひきこもりやニート等の状態から社会参加を目指す若者を支援している団体“京都ARU”と出会い、自分にも何か社会貢献できることはないかと考えた。立ち上げ当初は彼らと度々ぶつかることもあったが、この店のスタッフとしてあなたが必要だということを伝え、話し合いを繰り返すことで誰一人欠けることなく乗り越えてきた。包丁を持ったことないスタッフもいたが、今では調理だけでなく新たなメニューを考えてくれている。全てが上手くいく訳ではないが、やらないよりやった方がいい。考えているだけでなく始めてみる。周りとの連携や行政支援を活用し、継続していくことが必要である。」と述べられた。

㈲エスアールフードプロデュース
齋藤氏

京都経済お天気

中小企業団体情報連絡員11月分報告より

■冷え込む景況感、一層強まる先行き不安感

	業界景況天気図	概　況
全　体	10月 →11月	観光産業においては、秋の観光シーズンに入り回復が見られたが、他の業界では前月と同水準で推移し、冷え込んだ景況感に変わりはない。各業界・企業において打開策を見出す取組が行われているものの、先行き不透明な状況に不安感は一層強まり、早急かつ有効な景気対策及び支援策が求められている。
製造業 10月 ↓ 11月	繊維工業	生糸の高値止まりに伴い、市況は低調である。呉服小売店の撤退が続いており、商品の捌け口がますます窄まっているようだ。
	出版・印刷	仕事量の変化がますます大きくなっており、年間で比較すると減少傾向にある。業界としては、経済が上向きにならないで困っている状況である。
	鉄鋼・金属	電気・電子関係、設備関係は停滞したままで、先行きが見えない状況で推移している。自動車関係も受注が更に落ち込み、売上が前年同月比20～25%落ち込んでおり、更に業況は悪化している。このような事態がいつまで続くのか大きな不安であり、早急に国の具体的緊急対策をお願いしたい。
	一般機械等	既存分野は低迷を続け、新エネルギー関連等新規分野に好況感がある。大手企業は加工部材調達においてグローバル化が加速しており、下請型中小製造業はグローバル市場に拡大した形で厳しい価格競争に曝されている。
	その他製造業	プラスチック製品製造業界では、海外経済の減速や日中関係悪化で輸出が低迷し、内需も弱含み要因から売上高が減少してきており、資金繰りや収益状況の悪化が深刻だ。製茶業界では、年末商戦用の加工が始まり操業度が上がる時期であり、特に、スイーツ関連の加工業者は、クリスマス、正月を控え好調のようだ。
非製造業 10月 ↓ 11月	卸　売	生鮮食料品卸売業界では、景気悪化の影響が高級食材の販売を直撃し、前年同月比取扱量8%減少、取扱金額7%の減少となった。衆議院選挙の影響を受け忘年会等が減少、景気悪化も重なり年末商戦は期待できない可能性が高い。
	小　売	燃料小売業界では、地元中小企業が廃業に追い込まれるような大手資本の小売進出が加速されている。写真機等小売業界では、デフレの影響もあり販売価格の低下、大手販売店偏重の仕入価格により販売が厳しい商品がある。また、通販の送料無料化が中小小売店にとっては更に厳しい状況をつくり出している。
	商店街	11月も前年に比べると業況は悪化している。紅葉は昨年より約1週間早まり、下旬の連休には多くの人出が見られたが、その割には商いの拡大には繋がらず、消費者の財布の紐は固いようである。
	サービス	旅行業界では、観光・入園は対前年同月比119.6%、バスは115.6%と上昇しており、紅葉シーズンで需要が増えたのではないかと思われる。旅館業界では、11月後半に入り紅葉は進んだが、宿泊者数は伸びていない。宿泊者数の低下傾向がなかなか止まらない。
	建　設	造園工事業界では、年末の手入れで幾分的に忙しい感はするが、年明けの予定が立たない事業所が多い。経営努力だけでは如何ともし難い感じである。
	運輸・倉庫	11月中旬より観光入洛客が増加、平日・週末関係なく多くの観光客が動いており、タクシー業界においても、一時的なことだと思われるが活況を呈している。道路状況は、東山方面・嵐山方面を中心に各所で渋滞・停滞が発生し思うように移動できず、タクシー業界に影響が出ている。

快晴	晴れ	くもり	小雨	雨
DI値 40以上	20～40未満	20未満～△20未満	△20～△40未満	△40以上

特　集

2013年中小企業が目指す姿

平成25年は一大転換点になるか
～第二のリーマンショックに備えよ～

株式会社成岡マネジメントオフィス
代表取締役　成 岡 秀 夫（中小企業診断士）

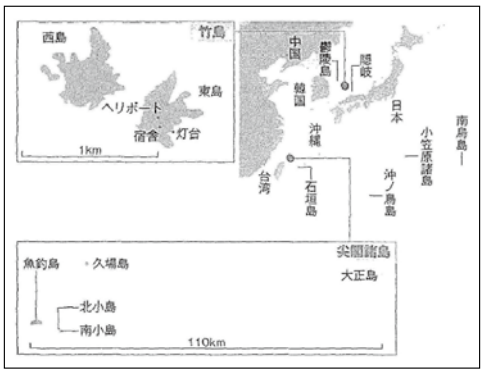
2008年（平成20年）の秋に起こったリーマンショックから４年以上経ったが、世界を見れば経済危機というトンネルの出口が見えない。筆者の個人的な「読み」では最悪第二のリーマンショックが起こる可能性がある。ここは、腹をくくって未来に生き残れる企業体質に脱皮するいいチャンスだと前向きに頭を切り替えることだ。過去の成功体験は通じないと心したほうがいい。準備を始めた企業と、のんびり今まで通りのことをしていた企業とでは、決定的に大きな差がつくだろう。そうなってからでは遅い。大きな転機になる年の予感がする平成25年が始まる。

低迷や混乱は続く

●金融円滑化法が期限切れになり、相当数の企業が一層の困窮状況になるが、もう何も対応ができないまま時間ばかり経過する。延命措置だけをして回復の兆しが見えない企業が多くあるが、金融機関も手を差しのべられない。進むも地獄、退くも地獄の状態になり、進退窮まる企業が相当数出る可能性がある。金融機関が破綻することが恐ろしいので、国や財務省、金融庁はとにかく金融機関が破綻しないように何とか措置を講じるが、一時的な延命策に終わり抜本的な改革にはほど遠い。かくて、困窮の企業が次第に整理統合される局面に入ってくる。倒産が徐々に増加し、金融機関の不良債権が顕在化してくる。体力のある金融機関とない金融機関の格差がはっきりしてくる。再度の金融機関の統合が起こる可能性が高い。

地元金融 中小支援を継続
京都産品商談会検討へ
（出典：日経新聞 2012.11.29）

●中国との尖閣問題、韓国との竹島問題、ロシアとの千島列島問題など、懸案のままにらみ合い状態が続く。領土問題は国際社会の場においても、非常にデリケートな問題だ。たいてい、こじれると話し合いから武力衝突になる危険性が大きい。戦争状態に近づくことは、少し前ならおカネ廻りがよくなることだった。しかし最近はそうはいかない。強硬な姿勢をとることもままならず、かと言って弱腰では弱みを一気に突かれる。政権の基盤次第だが、相当長期にわたって懸案問題として継続するだろう。特に大市場である中国との関係修復がキーになりそうな気配だ。市場としての中国か、製造工場としての中国かで、見方が大きく違ってくる。決断を迫られる企業が多くなる。



【中韓の圧力にさらされる日本の領土
（出典：日経大予測2013年版）】

●そうこうしているうちに、何かがトリガーになり経済の混乱が起こる可能性がある。金融機関が破綻しないように政府は何とか救済の策を講じるだろう。しかし、内部に膿を抱えている身体はそう簡単に健康体にはならない。生活習慣病を治すには時間がかかる。禁煙、節制、運動不足の解消、食事、睡眠、ストレスなど、やらないといけないことは山積しているが、何から手をつけていいのか分からない。経済が不振になると消費税のアップに赤信号が灯る。もし、消費税の増税を見送ることにまで事態が深刻になれば、国際公約を果たせないこととなる。そうなると日本の信用は一気に失墜し、それこそ経済の混乱が引き金になり、相当な激震が走ることが考えられる。

新しいビジネスチャンスもある

●サービス業はデフレが克服できないまま、一層の低価格路線が拡大する。しかし良く観察すると、全部が全部低価格路線ではない。コンビニも多種多様な商品構成で女性客や年配者の利用を促進している。今後高齢化が一層進むことを考えると、キーワードは「お届け」だ。顧客の手元に商品をタイムリーに届ける。単なる配達ではなく、希望の時間帯に希望の場所で、希望の受け取り方で届ける。それが生き残りの最大の戦略だ。運送会社で女性のスタッフを増加させるのも、夜時間帯の配達希望が増えているからだ。夜間に独り住まいの女性のところに男性がものを届けるより、女性の配達者が届けるほうがよほど安心安全だ。最後の１マイルを確実に安心安全を売り物に、届けることにどう付加価値を付けるのか。

●平成25年以降、京都市内には多くの大規模ホテルが完成する。観光を目玉にしている京都にとってこれは非常に大きなインパクトになる。春、秋の観光シーズンはどの宿泊施設も満員だが、それ以外のシーズンでのソフトが乏しい。寺社仏閣の観光資源（ハード）は揃っているが、リピーターを満足させるソフトがまだ乏しい。最近では花灯路や京都マラソン、七夕などのソフトもようやく徐々に揃いつつあるが、まだまだ魅力ある観光資源としては物足りない。知恵を絞って眠れる資源を活かすことを考えないといけない。早く手を付けて全国区になったものが優位性をゲットする。大規模コンベンション会場の整備、インバウンド観光客の受

け入れ、市内町屋の活用など、知恵を絞ればまだまだ新しいビジネスチャンスが拡がる。

●中小製造業の多い京都では、大規模な生産量を誇る大量生産大量消費型の製造業より、非常に付加価値の高い製品を製造できる技術がある。これを活かさない手は無い。収穫逓減の法則で大量ロットの製品を大規模に生産するより、付加価値の高い製品を少量で生産し高収益を目指す企業体質に転換しないといけない。特に、医療介護関係、精密部品加工、環境エネルギー分野などにビジネスチャンスがある。従来の成功体験を捨てて、今からこれらの市場に出て行くための準備をしていかないといけない。周囲がその方向に走り出してから、一緒に伴走していたのでは遅い。少し先を読んで、半歩、一歩でも先行することだ。トライしたことが全部成功するはずもない。しかし、トライしないと結果は出ない。

今後のリスクに備える

●経営者のカンを養うことが必要になる。今後の経営環境は一層厳しいことが予想されるから、色々と時間をかけて検討し、十分調査し、その結果で判断するという悠長な時間をかけられることは少ない。ほとんど瞬間的に判断することが必要となる。案件や事案があった際に、「これは行ける」と思えるか。そういう案件ほど当然判断は難しいが、感覚的に研ぎ澄まされていないと瞬時の判断ができない。瞬発力というか反射神経というか、日ごろからアンテナを高くし値打ちのある情報を選択的に集めている経営者のみ可能だろう。同じ業界のみんながうまくいくことはなくなってきた。一層の勝ち組、負け組がはっきりしてくる。その厳しい環境に打ち勝つ準備が出来ているか。

●誰かが何かをしてくれるわけではない。政府が何かをしてくれると思わないほうがいい。自分の将来は自分で決めると覚悟することだ。高度経済成長の時代は、国が大きなおカネを配分してくれた。その恩恵に浴して多くの企業が創業し、設立され、発展成長していった。しかし、今はどうだろう。少ないパイの取り合いになっている。国の中小企業に対する接し方も激変した。以前は等しく中小企業をサポートしていたが、昨今は手を挙げて頑張る企業は応援するが、そうでもない企業は取り残されても仕方ないという判断が通常だ。成長志向の企業への支援は可能だが、従来型のビジネスモデルに安住していた企業とは、この時点で取り残される可能性が高い。では、どうすればいいか。

●それは日頃から備えていることだ。何も、突然明日パニックが起こることに備える必要はない。日常を粛々と毎日日々これ改善の塊という意識で、毎日毎日を磨きながら、少しでもいいから昨日より今日、今日より明日が進歩、進化している実感がある企業なら、少々のことがあってもぐらつかない。そういう企業体質になるように日々備えておかないと、津波がどっと押し寄せてから慌てる。それから、さあどこに避難するのだっけと言っていては遅い。日頃から避難場所を確認し、ルートを確認する。緊急連絡網を点検し、改訂することを怠らない。非常用の水と食料の更新を忘れない。最悪のことを考え、３日間は暮らせる備えをしておく。いわば、当たり前のことを日常きちんとすることが、緊急時の備えになる。

（出典：NIKKEI BUSINESS　2012.6.4）

ビジョンを描き顧客感動を目指す

●業績が悪化してから慌てていては遅い。悔やむより、過去を反省して、どこに課題があるのか。課題が分かれば対策も講じられる。常に点検、常に改善。その気持ちを経営トップがどれくらい持ち続けられるかだ。不透明で困難な環境だからこそ、こうありたい、こうしたいという「経営者のビジョン」を持たないといけない。成り行きで経営できる時代ではなくなった。不透明だから、分からないから、将来のことなど考えられないという経営者の方は、早晩レースから脱落することになる。不透明だからこそ、難しい環境だからこそ、今後のビジョンが羅針盤になる。羅針盤のない航海など有り得ない。この船はどこを目指して航海に出るのか。それを明確に社員、従業員に示すことが経営者の最大のミッションになる。

●毎日毎日を一生懸命に生きるのも、今後のビジョンがあってのことだ。目標はあっても目的が明確でないと、すぐに足元がぐらつく。今後の５年間を考えて、自社の価値を最大限に活かせるビジネス分野はどこだろうかと、常に頭のどこかがぐるぐると回っている。寝ても覚めてもそのことに集中していると、あるときにぱっと考えが浮かぶものだ。備えが無いところにチャンスは無い。試合を想定した練習をしていると、試合でもそのプレーができるが、練習のための練習をしていると試合ではそのプレーはできない。その違いの積み重ねが、大きな結果の差を生むことにつながる。理念に基づき、ビジョンを明確にし、そのビジョンを達成するための工程表を作成する。とくに難しいことをするのではない。

●「ダントツ経営」というキャッチフレーズは、「コマツ」の会長坂根さんの専売特許だが、中小企業こそこの「ダントツ経営」を目指すべきだ。量を多く生産するのは大企業がお手の物だ。中小企業はそういう市場で戦うのは得策でない。経営者の最大のミッションは、市場の開発、開拓だ。市場の創造とは、ドラッガーの言うイノベーションだ。これからは、世の中がこれくらい厳しくなると、顧客満足は当然のこと、顧客感動まで進まないといけない。「なにをするか」ではなく「どこまでやるか」の勝負になる。顧客サービスはどの企業でも行っている。競争は「どこまで徹底してやるか」なのだ。そこを極めた企業のみがこれから生き残れる戦いにエントリーできる。経営者の覚悟が試される。

人を思う。未来を思う。
商工中金

新型定期預金
マイハーベスト

有利な金利設定
通常の債券・定期預金（固定金利）より高めの金利（当金庫内比較）をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

固定金利の半年複利
着実に、そして効率よく資産を増やせます。

1年、2年、3年から期間が選べる
将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

●お預け入れは、50万円以上1円単位です。
●お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
●詳しくは店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金　京都支店
〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町159-1
TEL 075-361-1120
http://www.shokochukin.co.jp/

人を思う。未来を思う。
商工中金

お知らせ

～ 中小企業組合関係の女性のみなさま
どうぞお気軽にご参加ください！ ～

第17回　女性のつどい

テーマ　「好印象をあたえるビジネスメーク」
～ 冬でもイキイキ・脱疲れ顔 ～
講　師　資生堂販売株式会社 近畿支社（京都オフィス）
美容統括部 美容部長　大倉　恵 氏

・**日　時**　平成25年2月14日（木）午後5時 ～ 8時30分
セミナー　午後5時～6時45分
交 流 会　午後7時～8時30分

・**場　所**　ＡＮＡクラウンプラザホテル京都　2階「醍醐の間」

・**参加料**　セミナー(受講料)1,000円(きょうとMOCO会員：無料)
交 流 会　5,000円

《お申込・お問合せ》
京都府中小企業女性中央会（きょうとＭＯＣＯ）事務局
TEL　075-314-7131　　FAX　075-314-7130
URL　http://www.chuokai-kyoto.or.jp/CHUOKAI/DANTAI/jyosei.html
※京都府中小企業女性中央会は、京都府中央会の女性部組織です。この機会に京都府中小企業女性中央会にご加入いただくと、セミナー受講料は無料となりますので、是非ご加入下さい。

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を付した12色を創作したうちの「舞妓のべに色」です。

登録はお済みですか？

京都府中央会メールマガジン
KCインフォメーション配信登録募集中！

京都府中央会では、施策情報をはじめ本会や関係機関等からのイベント情報等について、電子メールにより情報配信を行っています。組合員企業への情報提供にもご活用頂ける内容ですので、ぜひご登録下さい！

■**配 信 日**　月3回（10日・20日・30日）
※但し、配信日が土・日・祝日の場合は、原則としてその前日に配信

■**登録方法**　京都府中央会ホームページ「メルマガ配信サービス」よりご登録下さい。
URL　http://www.chuokai-kyoto.or.jp/
※ホームページの閲覧が困難な場合は、本会までご連絡下さい。

■**お問合せ**　京都府中小企業団体中央会　総務情報課
☎ 075-314-7131

月刊中小企業連携組織活性化情報　協同
1/2013　平成25年1月1日発行　通巻793号
●編集・発行●
京都府中小企業団体中央会
京都市右京区西院東中水町17（西大路五条下ル）　京都府中小企業会館4階
☎ 075-314-7131　FAX 075-314-7130
URL http://www.chuokai-kyoto.or.jp　E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp

迎春

謹んで新春のお慶びを申し上げます

登録商標

西陣® 西陣織® 西陣 爪掻本綴織®

西陣御召® 西陣金襴®

西陣織工業組合

理事長 渡邉隆夫

〒602-8216 京都市上京区堀川通今出川南入
TEL 075(432)6131 FAX 075(414)1521
URL http://www.nishijin.or.jp/
info@nishijin.jp

健康家族は魚食から

京都全魚類卸協同組合

理事長 池本周三

〒600-8847 京都市下京区朱雀分木町市有地
TEL 075(311)6067 FAX 075(311)8206
URL http://www.zennaka.or.jp

異業種31社で構成する時代の高度な要求に対応できる技術集団

協同組合日新電機協力会

理事長 安藤源行

〒615-8686 京都市右京区梅津高畝町47番地 日新電機株式会社内
TEL 075-864-8430 FAX 075-864-8564
URL http://www.nissin.or.jp office@ns-net.or.jp

謹んで新春のお慶びを申し上げます

迎春

京都中央葬祭業協同組合

理事長　松　井　昭　憲

〒604-8161　京都市中京区烏丸通六角上ル饅頭屋町608番地
TEL 075-253-0850　FAX 075-253-0860
URL http://www.kyosokyou.jp/
office@kyosokyou.jp

協同組合日東協力会

理事長　山　下　信　幸

〒623-0054　京都府綾部市井倉町梅ケ畑20番地
TEL 0773-42-3111　FAX 0773-42-8426

京都府遊技業協同組合

理事長　白　川　鐘　一

〒606-8431　京都市左京区鹿ケ谷下宮ノ前町4番地
TEL 075-751-6711　FAX 075-752-0220
URL http://www.kyoyukyo.jp

誂京染。

京都誂友禅工業協同組合

理事長　木　村　泰　士

〒615-0902　京都市右京区梅津神田町47番地
TEL 075-862-3600　FAX 075-862-3611
URL http://www.atsurae.com
info@atsurae.com

安心で安全な屋根をお届けします。

京都府瓦工事協同組合

理事長　松　田　　等

〒601-8448　京都市南区西九条豊田町12番地
TEL 075-691-5511　FAX 075-691-6002
URL http://www7.ocn.ne.jp/~kawara.k/
kawara.k@circus.ocn.ne.jp

京都府生活衛生同業組合協議会

会長　山岡　景一郎

〒606-8221　京都市左京区田中西樋ノ口町90番地
TEL 075-722-2051　FAX 075-711-6123

綜合企業組合の元祖（京都府内初）

平安企業組合

理事長　伏　見　厚　志

〒604-8146　京都市中京区蛸薬師通東洞院西入ー蓮社町303番地
TEL 075-211-4231㈹　FAX 075-211-4235
heian110@lime.ocn.ne.jp

京都弁護士協同組合

理事長　田　中　彰　寿

〒604-0971　京都市中京区富小路通丸太町下ル
TEL 075-212-9036　FAX 075-223-1804

迎春

謹んで新春のお慶びを申し上げます

京都府水産流通協同組合連合会

理事長　早　瀬　隆　之

〒624-0914　京都府舞鶴市字下安久1013番地
TEL 0773-75-3275　FAX 0773-75-5330

京都府製麺卸協同組合

理事長　小　林　宏　史

〒602-8144　京都市上京区竹屋町通日暮東入藁屋町535番地
TEL 075-841-2010　FAX 075-812-7766
URL http://www.kyoto-marugoto.jp/web/seimen/
✉ kyoto-seimen@arion.ocn.ne.jp

京都府共済協同組合

理事長　河　野　　規

〒615-0042　京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館内
TEL 075-314-7135　FAX 075-314-7178
URL http://www.fu-kyosai.or.jp
✉ info@fu-kyosai.or.jp

機密書類処理はお問い合わせ下さい

京都府紙料協同組合

理事長　澤　田　修　一

〒601-8012　京都市南区東九条南岩本町1番地 関西紙料㈱内
TEL 075-671-2396　FAX 075-671-2397
URL「京都府紙料協同組合」で検索して下さい。
✉ info@kansaishiryo.com

京都野菜卸売協同組合

理事長　寺　西　保　男

〒600-8847　京都市下京区朱雀分木町市有地
TEL 075-311-6533　FAX 075-311-6535
URL http://www.kyoyasai.or.jp
✉ info@kyoyasai.or.jp

難の難 乗り越えてこそ歓び有

京都府プラスチック協同組合

理事長　宮　本　研　二

〒613-0024　京都府久世郡久御山町森村東236
TEL 075-632-5584　FAX 075-632-5585
URL http://www.kyopla.or.jp
✉ info.kyopla@ares.eonet.ne.jp

丹後織物工業組合

理事長　渡　邉　正　義

〒629-2502　京都府京丹後市大宮町河辺3188
TEL 0772-68-5211　FAX 0772-68-5300
URL http://www.tanko.or.jp/
✉ tanko@tanko.or.jp

京都シール印刷工業協同組合

理事長　藤　木　俊　夫

〒601-8342　京都市南区吉祥院東前田町36　(株)大槻シール印刷 内
TEL 075-691-7521　FAX 075-691-7523

謹んで新春のお慶びを申し上げます

迎春

最先端技術の企業集団

協同組合京都府金属プレス工業会

理事長　阪　口　雄　次

〒613-0905　京都市伏見区淀下津町221番地　株式会社阪口製作所内
TEL 075-633-6110　FAX 075-633-6120
URL http://www.kyoto-stamp.org
secretariat@kyoto-stamp.org

京都友禅協同組合

理事長　池　田　佳　隆

〒600-8441　京都市下京区新町通四条下ル四条町349番地
TEL 075-351-8916　FAX 075-351-8919
URL http://www.kyo-yuzen.or.jp
yuzen-3@mbox.kyoto-inet.or.jp

京都錦市場商店街振興組合

理事長　宇　津　克　美

〒604-8054　京都市中京区富小路通四条上る西大文字町609番地
TEL 075-211-3882　FAX 075-211-1969

おいしさにまごころ込めて、健康に願いを込めて

ふくし事業協同組合

理事長　奥　田　省　三

〒620-0062　京都府福知山市和久市町46番地
TEL 0773-22-5009　FAX 0773-23-3477
URL http://fukushi-kyushoku.or.jp
kyushoku-fukushi@sirius.ocn.ne.jp

京都ポーター急配協同組合

代表理事　宇　野　賢　志

〒612-8452　京都市伏見区中島堀端町89
TEL 075-622-0230　FAX 075-622-0481

伝統を受け継ぎ、ものづくりに心を注がれる温かい職人さんでいっぱいです。
京都で建具のことなら京都府建具商工業協同組合へ

京都府建具商工業協同組合

理事長　伊達　靖史

〒604-8871　京都市中京区壬生朱雀町27 朱雀ハイツ2階
TEL 075-841-4903　FAX 075-841-4935
URL http://www.kyototategu.com
jim@kyototategu.com

経済産業大臣指定伝統的工芸品　京仏壇・京仏具

仏 京仏壇 京仏具 京都府仏具協同組合

京都府仏具協同組合

理事長　田　中　雅　一

〒600-8216 京都市下京区西洞院通七条下る
サンプレ京都ビル3階
TEL 075(341)2426　FAX 075(343)2850
URL http://www.kyobutsugu.com

飾らない銀行

京都銀行

頭取　髙﨑　秀夫

〒600-8652
京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地

TEL 075（361）2211
URL http://www.kyotobank.co.jp/

迎春

謹んで新春のお慶びを申し上げます

大和企業組合

理事長　大　嶋　喜　好

〒600-8216

京都市下京区新町通七条下る東塩小路町727番地

TEL 075-343-5101　FAX 075-361-3921

URL http://www.shinmati.jp/

✉ info@shinmati.jp

王朝食文化と共に育まれた京のみそは、今もそしてこれからも伝統を重んじ皆様のご嗜好に合わせて開発に努めて参ります。

京都府味噌工業協同組合

理事長　本　田　　茂

〒602-0904　京都市上京区室町通一条上ル小島町558番地

TEL 075-441-5807　FAX 075-431-4110

URL http://www.kyomiso.com/

京染卸商業組合

理事長　寺　井　庄兵衛

〒604-8333　京都市中京区西堀川通三条下る下八文字町702番地

TEL 075-801-3355　FAX 075-801-3359

URL http://www.kyozome.info

✉ info@kyozome.info

京都市中央卸売市場は安全・安心をお届けします。

京都中央市場青果卸売協同組合

理事長　田　中　憲　一

〒600-8847　京都市下京区朱雀分木町市有地

TEL 075-311-6485　FAX 075-311-6407

URL http://kyoto-seikakumiai.com

✉ seinaka@fancy.ocn.ne.jp

京都府シートメタル工業会

会長　髙　木　正三郎

〒612-8388　京都市伏見区北寝小屋町48

TEL 075-602-3422　FAX 075-602-3408

URL http://www.kyoto-sma.gr.jp

組合創立50周年

久世工業団地協同組合

理事長　長谷川　喜　弘

〒601-8203　京都市南区久世築山町378番地の1

TEL 075-921-1141　FAX 075-921-1145

URL http://www.kuze.or.jp

✉ kuze.kumiai@gmail.com

JU京都　京都府中古自動車販売商工組合

代表理事　藤　井　　進

〒612-8585　京都市伏見区竹田向代町51番地の5

TEL 075-681-8287　FAX 075-681-1735

✉ ju.kyoto@celery.ocn.ne.jp

迎春

謹んで新春のお慶びを申し上げます

明和協同企業組合

代表理事　増　井　俊　三

〒604-0036　京都市中京区二条通り西洞院東入正行寺町627番地
TEL 075-231-3844　FAX 075-211-2957

磁気焼鈍，24時間体制

京都府熱処理事業協同組合

代表理事　三　宅　　正

〒601-8034　京都市南区東九条南河辺町20
TEL 075-672-3826　FAX 075-662-5828
URL http://www.kyonetsu.jp
✉ t.miyake@kyonetsu.jp

京都室内装飾協同組合

理事長　南　　建次郎

〒615-0841　京都市右京区西京極火打畑町1-12
TEL 075-315-7800　FAX 075-315-7801
URL qq7y76td@cotton.ocn.ne.jp

あらゆるニーズにお応えするハイテク総合産地

丹後機械工業協同組合

理事長　山　本　　正

〒627-0042　京都府京丹後市峰山町長岡1620-1
TEL 0772-62-0263　FAX 0772-62-6176
URL http://tango-tc.jp
✉ info@tango-tc.jp

社団法人日本図案家協会

会長　林　　史己（ちかみ）

〒606-8343　京都市左京区岡崎成勝寺町9-1
TEL 075-761-5381　FAX 075-751-0706
URL http://www.nichizu.or.jp
✉ info@nichizu.or.jp

京都府印刷工業組合

理事長　瀧　本　正　明

〒615-0064　京都市右京区西院久田町1番地
TEL 075-312-0020　FAX 075-314-8692
URL http://www.kyoinko.jp

ON YOUR SIDE 一緒がうれしい

京都中央信用金庫

理事長　布　垣　　豊

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル
☎ 075（223）2525
FAX 0120-201-580（フリーダイヤル）
www.chushin.co.jp

謹んで新春のお慶びを申し上げます

迎春

商店街の活性化で賑わいのあるまちづくりを！

京都府商店街振興組合連合会

理事長　宇　津　克　美

〒600-8009　京都市下京区四条室町東入　京都産業会館内
TEL 075-221-5915　FAX 075-252-3740　URL http://www.syouren.or.jp

京都府鍍金工業組合

代表理事　上　野　忠　明

〒601-8181　京都市南区上鳥羽堀子町34
TEL 075-661-0923　FAX 075-661-3529
URL http://www.k-mekki.com

京都府砕石協同組合

代表理事　今　井　　守

〒604-8382　京都市中京区西ノ京北聖町68番地1
リシェス二条901号
TEL 075-821-2267　FAX 075-821-9301

「京とうふ」は、京都府豆腐油揚商工組合の登録商標です
（地域団体商標登録第5072947号）

京都府豆腐油揚商工組合

代表理事　東　田　和　久

〒600-8241　京都市下京区堀川通塩小路西入ル志水町133の2
TEL 075-361-0068　FAX 075-341-6055
URL http://tofu.or.jp/
tofukumiai@tofu.or.jp

亀岡電気工事業協同組合

代表理事　川　勝　廣一郎

〒621-0804　京都府亀岡市追分町下島40番地の１
亀岡商工会館２階
TEL 0771-22-6185　FAX 0771-22-9185

京都建材商協同組合

代表理事　宮　本　正　道

〒603-8043　京都市北区上賀茂池端町54番地
TEL 075-781-1416　FAX 075-781-1416

京都税理士法人

代表社員　江　後　良　平

〒601-8328　京都市南区吉祥院九条町30番地1
江後経営ビル
TEL 075-693-6363　FAX 075-693-6565
URL http://www.ego-kcc.com

積極果敢にチャレンジ！

株式会社成田製作所

代表取締役　成　田　一　成

〒613-0035　京都府久世郡久御山町下津屋富城91番地
TEL 0774-43-5811　FAX 0774-44-1103
URL http://www.narita-mfg.co.jp
narita-info@narita-mfg.co.jp

迎春

謹んで新春のお慶びを申し上げます

協同組合京都府中小企業診断士会

理事長　山　脇　康　彦

〒600-8813　京都市下京区中堂寺南町134番地　ASTEM棟301号
TEL 075-325-5731　FAX 075-325-5675
URL http://www.kcs-net.or.jp　✉ kcs-office@kcs-net.or.jp

暮らしの中に木を活かす木のプロ集団

京都木材協同組合

理事長　乾　　康之助

〒604-8414　京都市中京区西ノ京小倉町1
TEL 075-811-0147　FAX 075-822-3063
URL http://www.kyomokkyo.com/
✉ k-mokkyo@wing.ocn.ne.jp

京都の春は北野をどりから

第61回北野をどり

3/25(月)～4/7(日)

上七軒歌舞会
上七軒お茶屋協同組合
上七軒芸妓組合

〒602-8381 京都市上京区今出川通七本松西入真盛町742（北野天満宮東側）
TEL 075-461-0148　FAX 075-461-0149
URL http://www.maiko3.com

公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会

会長　鍵　山　祐　一

〒602-0915　京都市上京区中立売通室町西入三丁町453番地3
TEL 075-415-2121　FAX 075-415-2120
URL http://www.kyoto-takken.or.jp/

京都左官協同組合

理事長　倉　　理一郎

〒600-8372　京都市下京区大宮通五条下る東側南門前町484番地
TEL 075-353-7335　FAX 075-353-7290
URL http://kyotosakan.com
✉ info@kyotosakan.com

「道の駅」 舞鶴港 とれとれセンター

舞鶴さかなセンター協同組合

理事長　藤　元　達　雄

〒624-0946　京都府舞鶴市下福井905番地
TEL 0773-75-6125　FAX 0773-75-9950
URL http://www.toretore.org
✉ info@toretore.org

京都府電設資材卸業協同組合

理事長　藏　岡　一　彦

〒612-8448　京都市伏見区竹田東小屋ノ内町52番地
TEL 075-602-1899　FAX 075-602-1899
✉ kyodenzai@marble.ocn.ne.jp

全国にはない京都府下一円44団体の料飲組合が集まった組織

京都府料理飲食業組合連合会

会長　宮　北　昭　夫

〒604-0951　京都市中京区二条富小路東入晴明町673の2　京都料飲国保会館2階
TEL 075-252-0287　FAX 075-252-0288
URL http://www.kyoto-r.com
✉ ryoinren@kyoto-r.com

謹んで新春のお慶びを申し上げます

迎春

業務から生活全般までお役に立ちます

京都府柔道整復師協同組合

理事長　関　　弘　美

〒605-0878　京都市東山区大和大路五条下ル東入芳野町79番地の2
TEL 075-541-5937　FAX 075-541-5938
URL http://www.miyako.or.jp　✉ k-miyako@mbox.kyoto-inet.or.jp

京都府茶協同組合

理事長　小　山　元　治

〒611-0021　京都府宇治市宇治折居25番
TEL 0774-23-7711　FAX 0774-23-7732
URL http://www.kyocha.or.jp/
✉ kyocha@wao.or.jp

京都府繊維染色工業組合

理事長　小　谷　正　夫

〒602-8224　京都市上京区黒門通一条上ル弾正町732
TEL 075-441-7185　FAX 075-451-0903
URL http://www.some-kyoto.or.jp
✉ kumiai@some-kyoto.or.jp

建築職人の伝統と精神を守る建築組合

京都府建築工業協同組合

理事長　藤　本　髙　信

〒602-8139　京都市上京区葭屋町通リ下立売下ル
TEL 075-802-1281　FAX 075-812-3625

ヤサカグループ無線事業協同組合

代表理事　粂　田　昌　宏

〒600-8802　京都市下京区中堂寺櫛笥町１
TEL 075-842-1215　FAX 075-821-1522
URL http://www.yasaka.jp

京都美術商協同組合

理事長　三　島　敏　明

〒605-0064　京都市東山区新門前通梅本町263
TEL 075-551-1146　FAX 075-541-5580

ホテルグランヴィア京都

代表取締役社長　土　師　総　一

〒600-8216　京都市下京区烏丸通塩小路下　ＪＲ京都駅中央口
TEL 075-344-8888(大代表)　FAX 075-344-4400
URL http://www.granvia-kyoto.co.jp
✉ hotel@granvia-kyoto.co.jp

つながる、生まれる、
地域の絆

地域とともに　コミュニティ・バンク
京都信用金庫

理事長　増田　寿幸

京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地
TEL(075)211-2111
http://www.kyoto-shinkin.co.jp/

京都府中小企業団体中央会事業のご案内

中央会では、組合等の設立や運営の支援、任意グループなどの緩やかな連携組織の形成支援等を行っているほか、金融・税制や労働問題など中小企業等の経営についても、いつでもご相談に応じています。

組合の設立
組合の設立相談に常時応じています。組合制度の説明、認可行政庁との連絡・調整、創立総会の運営、設立認可申請書等の書類作成など、組合設立まで一貫したお手伝いをいたします。

助成事業
組合等の運営の健全化並びに当該業界の振興発展を図るため国及び京都府、京都市、全国中央会等の補助を受けて、各種助成事業に対してその経費の一部を助成しています。

青年部・女性部の育成
組合の次代を担う青年部の結成・運営等の相談に応じています。更に、組合青年部が実施する研修会などに対して、一部経費助成するとともに、青年部の連合組織である京都青年中央会の活動を支援しています。また、京都府中小企業女性中央会を軸として組合傘下の女性部活動の推進に努めています。

官公需
中小企業の官公需受注の拡大を図るため、府内の官公庁より発注及び落札等の情報を収集し、本会ホームページ等により組合への提供を行っています。また、「官公需適格組合証明」申請の支援を行っています。

労働
労働時間短縮、職場環境の改善、介護・育児休業制度など組合や組合員企業の労働に関する相談に常時応じています。また、厚生労働省等から委託を受け、労働問題に関する調査・施策啓発普及・助言等を行っています。

情報の提供
機関紙「協同」を定期的に発行し、中小企業や中小企業組合に関する国の施策、先進事業、組合運営等、各種情報を提供しています。また、ホームページやメールマガジンにより最新の情報をお届けしています。

任意組織、LLP 等の設立・運営
戦略的に連携し、不足する経営資源を相互に補完しあっている有機的なグループや、LLP（有限責任事業組合）などの組織も広く中小企業の連携組織として、その設立・運営の相談に応じています。

組合の運営
組合運営上の問題の相談に常時応じています。また、組合が抱える問題解決に専門的な知識を必要とする場合には、弁護士、税理士、中小企業診断士等の専門家を派遣する事業を実施しています。

人材育成
中小企業の経営者、若手後継者、従業員、組合等の役職員を対象に組合管理者講習会、青年部講習会、海外研修、各種研修会を実施しています。また、「中小企業組合士」制度の普及に努めるなど人材養成に力を注いでいます。

地域団体商標登録制度
商標法が改正され、地域団体商標制度が平成 18 年にスタートしました。地域発の商品やサービスのブランド化を通じて地域経済の活性化をめざす地域ブランドの取り組みに支援をしています。

情報化
組合や組合員の情報化及び情報ネットワーク構築、ホームページ等を活用した共同事業展開に対して継続的に専門家を派遣しアドバイスを行っています。また、組合役職員、組合員等を対象としたパソコン研修会を開催し、体系的に IT 化を促進する事業を実施しています。

各種保険・共済制度の普及
PL（製造物責任）法の施行による損害賠償に備え、中央会独自の中小企業 PL 保険や個人情報保護法に対応した個人情報漏えい賠償責任保険などの加入を促進しています。また、生命保険会社や損害保険会社とタイアップして総合補償制度等の団体加入を促進するほか、国の中小企業倒産防止共済制度、小規模企業共済制度、中小企業退職金共済制度の業務委託団体としてその普及拡大に努めています。

『連携』は

中央会にお任せ下さい！

経営面や労働面でお困りの
中小企業の皆さまへ

最低賃金総合相談支援センター・コーナーをご活用ください

本会では、経営面や労働面など幅広い課題にワンストップで相談対応する窓口を設置しています。専門家を各企業に派遣し、個別にコンサルティングを受けることもできます。

相談及び専門家派遣は、すべて無料ですので、是非ご活用ください。

＊ 厚生労働省からの委託事業ですので、相談内容、企業・個人情報などは秘密厳守で安心して相談いただけます。
＊ 相談の申込方法は、センターでの面談のほか、電話、FAXでお願いいたします。

京都府最低賃金総合相談支援センター
電話：075-314-7131
FAX：075-314-7130
〒615-0042 京都市右京区西大路五条下ル
京都府中小企業会館４階
京都府中小企業団体中央会内

京都府北部最低賃金相談支援コーナー
電話：0773-76-0759
FAX：0773-76-7930
〒624-0945 舞鶴市字喜多1105-1
舞鶴21ビル5階503
京都府中小企業団体中央会北部事務所内

詳しくは、京都府中小企業団体中央会のホームページをご確認ください。

京都府中小企業団体中央会
http://www.chuokai-kyoto.or.jp

厚生労働省京都労働局委託　中小企業相談支援事業

『働く人のメンタルヘルス実践･実務セミナー(第3回)』のお知らせ

年間3万人の自殺者が14年連続するなど、近年『心の病』が急増し、国はその対策の一つとして、定期診断検診時にメンタルチェックを全事業所に義務づける等の労働安全衛生法の改正を目指しています。今回は、精神疾患に係る労災認定や改正安衛法後の効果的なメンタルヘルス対策を取り上げました。どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。

プログラム
13:00~14:10「労働関係法令と精神疾患の業務上外認定について」
(社会保険労務士 NPO法人あったかサポート常務理事　笹尾 達朗 氏)
14:10~15:10「メンタルヘルスストレスチェックのモデル事業の実施結果について」
(合同会社労務トラスト業務執行社員 社会保険労務士 第1種衛生管理者　森本 貴代 氏)
15:20~16:45「企業におけるメンタルヘルス対策の具体的取組について」
((株)産業医大ソリューションズ代表取締役 医師 労働衛生コンサルタント　亀田 高志 氏)

日　時	平成25年２月12日（火） １３：００～１７：００
会　場	京都テルサ 西館3階第1会議室 （京都市南区新町通九条下ル） ※受付は１２時３０分から
申込期限	平成25年２月5日（火）
申込方法	申込書によりＦＡＸ又は郵送でお申込下さい。 申込書URL〈http://www.attaka-support.org/〉
申込先	〒600-8154　京都市下京区間之町通下数珠屋町上ル榎木町３０６ 坂口ビル２F 特定非営利活動法人あったかサポート ＦＡＸ 075-352-2646　（ＴＥＬ 075-352-2640）

主催：京都府　　委託先：ＮＰＯ法人あったかサポート
協力：（独）労働者健康福祉機構　京都産業保健推進センター

平成26年1月以降
記帳・帳簿等の保存制度の対象者が変わります！

【現　行】個人の白色申告の方のうち、前々年分あるいは前年分の事業所得や不動産所得などの金額の合計額が300万円を超える方

【改正後】事業所得や不動産所得などを有する全ての方

記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ（http://www.nta.go.jp）に掲載されていますので、ご覧ください。
詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。

事業主さん

安全・有利・手軽な
国の退職金制度を活用しませんか。

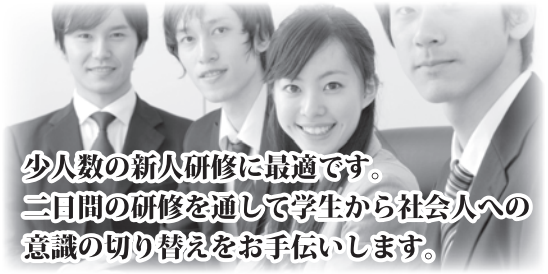
中小企業退職金共済制度
CHU TAI KYO

詳しくは
ホームページをご覧ください。
中退共　検索

国の制度だから安心	掛金は全額非課税	社外積立で管理も簡単
掛金の一部を国が助成します。	手数料もかかりません。	退職金試算額などをお知らせします。

（独）勤労者退職金共済機構　中小企業退職金共済事業本部　TEL(03)6907-1234　FAX(03)5955-8211

平成25年 新入社員研修



少人数の新人研修に最適です。
二日間の研修を通して学生から社会人への
意識の切り替えをお手伝いします。

受講料 2日間 42,000円（税込）
※ご希望の1日のみ、
¥25,200でご受講いただくこともできます。

早期申込割引
1、2月のお申し込みで
掲載価格より 5% OFF！

	1日目	2日目
①	2月19日(火)	2月20日(水)
②	3月7日(木)	3月8日(金)
③	3月26日(火)	3月27日(水)
④	4月2日(火)	4月3日(水)
⑤	4月16日(火)	4月17日(水)
⑥	4月25日(木)	4月26日(金)
⑦	5月16日(木)	5月17日(金)
⑧	5月28日(火)	5月29日(水)

講習時間 10:00 ～ 17:00(6時間)

株式会社アイシーエル
icl
オーダーメイド研修・講師派遣承ります。お気軽にお問合わせください。
☎075-254-7311
URL http://www.icl-web.co.jp　E-mail seminar@icl-web.co.jp

セミナー会場
京都府京都市下京区函谷鉾町80
京都産業会館2階 アイシーエル研修室
営業時間 9時～18時（土・日・祝日は休業）